



日本福祉大学の皆さんに
知ってほしい

就活

石川県の



学園報 98

(学) 日本福祉大学



Since 1953

日本福祉大学大学院
日本福祉大学
日本福祉大学中央福祉専門学校
日本福祉大学附属高等学校
日本福祉大学付属クリニックさくら

Contents

- P.2 2021 年は学園ブランド構築の年に
- P.4 日本福祉大学の遠隔授業（オンライン・オンデマンド）
- P.6 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援募金へのお礼とご報告 ほか
- P.8 【特集】通信教育部 20 年のあゆみ
- P.12 Topics
 - ・児玉善郎現学長を次期学長に再任
 - ・大学院スポーツ科学研究科の開設
- P.13 学生たちの活躍
- P.16 学園ネットワーク
- P.18 附属高校
- P.20 中央福祉専門学校・附属クリニックさくら

2021 年は学園ブランド構築の年に ～「人類愛の精神」「健康で文化的な生活」 への徹底的なこだわりを持って～

学校法人日本福祉大学 理事長 丸山 悟

1. 本学にとって「辛丑」の今年はどういう年になるのか？

今年の干支である「辛丑」（かのと・うし）をインターネットで調べてみると、「痛みを伴う幕引き」と「殻を破ろうとする命の息吹、そして希望」が交じり合う／交差するときに意味しているようです。「辛いことが多いだけに、大きな希望が芽生える年になる」とも言われています。

これを踏まえて、本学は今年 2021 年をどのような年にしようとしているのか？スローガンの一言で表現すると、学校法人日本福祉大学ブランド（学園ブランド）を構築する年にする、ということになります。本学は、この 3 月に、2021 年度から 2028 年度までの新たな中期計画（第 3 期学園・大学中期計画）を決定し、計画に沿った歩みを粛々と進めていきます。その歩みの特徴は、2023 年の学園創立 70 周年を一つの節目に据えて、従来の「殻」を破る取組みを大胆に展開し、学園ブランドの構築を図る、ということになります。

従来の「殻」を破る取組みとは、研究と教育の合致の追求に留まらず、そこに社会实践（事業）も一体的なものとして組み合わせる。そのために、本学園の総力を結集する。この二つのことを意味しています。「通信」と「通学」の融合、キャンパス・学部・学科・学校間の「壁」を突き破った多職種連携教育事業の推進等、教育研究の質向上に係る取組みを進めます。そして、この教育研究と事業創出の二軸が、DX（デジタル・トランスフォーメーション）という「ロッド」を活かして回転し始めるのが 2021 年度になるわけです。

2. 学校法人日本福祉大学ブランドとは何か？

ブランドには「卓越性」と「差異化」と「価値共有」の 3 要素があります。「卓越性」は他に特別に秀でたという意味もありますが、それは見る人の価値観に左右される面が大きいので、「目標に向かってたゆまぬ努力を続ける力」に重きを置きます。「差異化」は、他と比較した「意味ある差」を意味しています。そして「価値共有」ですが、人々の中に信念的に定着している精神や願いとの「呼応」（共振）が意味を成す、と考えています。

以上から、「地域に根ざし、世界をめざす」本学が「ふくし」（ふつうの・くらしの・しあわせ）を追求する学園であること。この「ふくし」の具体的な達成を、ブランド化に欠かせない差異化と卓越性の根拠とする必要があります。そして、「しあわせ」追求の権利（幸福追求権）は日本国憲法第 13 条の、人間の尊厳を守る精神。「ふつうのくらし」は第 25 条（生存権）に規定された「健康で文化的な生活」に値します。これを教育と研究と事業において徹底する。

「人間の尊厳」を守る立場とは、「人類愛の精神に燃えて立ち上がる学風」（建学の精神）と置き換えることができ



ます。この「人類愛の精神」と「健康で文化的な生活」に徹底してこだわり、この両者を人々の支え・支えられる関係性の構築を通して社会に根づかせていく。これが本学園の「価値観」だと、様々な取組みの中で可視化していきたいと思っています。

3. 2021 年は「組合せ（コンビネーション）元年」になる？

しかし、価値観の強調に留まっていたは、本体の「事業」が永遠に「未完のプロジェクト」となってしまう危険があります。

国際的には SDG s（持続可能な開発目標）の達成や多文化共生の実現、国内的にはふくし社会の実現に寄与できることが重要になります。そのために、4 キャンパスで展開している 8 学部 10 学科、6 大学院研究科、1 クリニックと中央福祉専門学校、付属高等学校の総力を結集して、課題解決と人材育成に当たり、「知多半島モデル」を一つの典型とした地域共生社会の「現実態」をつくることが重要になると考えています。

それぞれの正課・正業の充実を追求するのは当然です。同時に、卑近な目標に煩わされない、人々の本質的なニーズに依拠した、より価値の高いもの（+アルファのもの）を創造することも求められており、違う要素のものを含め、いかに効果的な組合せができるか、がポイントです。その意味で、今年は「組合せ（コンビネーション）元年」になると思います。

4. コロナ禍で思うこと

クラスターを発生させるようなことがないよう、安全対策を強め、新型コロナウイルス感染症と対峙していくことが重要になっています。同時に本学の場合は、過大な緊張を強いられている社会福祉施設や医療機関に対する救援の取組みを強めていく必要があります。さらに、コロナ禍の「禍」の部分と、コロナの中にあっても戦うことが求められています。

コロナによって^{もたら}される不幸の拡大を食い止め、健康で文化的な生活を取り戻すことに貢献するのは、科学（研究）や教育の力に加えて、強い意志と倫理観に支えられた、様々な意味でのソーシャルアクションの力です。

ソーシャルアクション（世論への働きかけ）も、実践性のメダルの裏面として今年のテーマになる感じがします。本年もよろしくお願いします。

略 歴

丸山 悟（まるやま・さとる）

1954 年長野県生まれ。1978 年早稲田大学法学部卒業。1979 年学校法人法音寺学園（現・学校法人日本福祉大学）職員に採用。企画広報課長、学園企画部長、企画・事業局長を経て、企画局長。2009 年総合企画室長、常任理事。2013 年 4 月から現職。日本私立大学協会理事。全日本ソフトボール連盟副会長、東海地区大学ソフトボール連盟会長。

■ 日本福祉大学の遠隔授業（オンライン・オンデマンド） ～ 2020 年度後期の現状と来期の展望～

日本福祉大学では学生、教職員の健康を守ることを第一に考え、教育の質を保証するため、WEB 会議システム「Zoom」の利用を中心とする遠隔授業を実施しました。前号に引き続き全学教育センター長に後期の状況と、今後の展望について語っていただきました。

万全の措置をとりながら、 対面授業や学外実習を実施。

後期は遠隔授業をベースに、一部の演習および実技・実験・実習科目で対面授業を実施しています。その割合は遠隔授業が約 7 割、対面授業が約 3 割です。本学は障害のある学生が多く、また、同居するご家族が医療福祉現場で働いていらっしゃる例も少なくありません。ですから一層の緊張感を持って教育を進めなくてはならない一方で、「地域に根ざし、世界を目指す『ふくしの総合大学』」がコンセプトとしている以上、学生が地域に飛び出し、地域の住民や組織の方々から実践的に学ぶフィールドワークや現場実習はいわば生命線。そのため、実習を重視した教育方針を可能な限り実現する方向で最大限の対策を講じています。どんな状況でも、社会福祉士や看護師、理学療法士、作業療法士などの医療・福祉の専門職の人材輩出を止めないことが私たち大学の責任でもあります。

対策の例を挙げると、ほとんどの学生が地元で行う「教育実習」では、事前訪問日の 2 週間前には地元へ帰り、外出自粛して過ごすよう学生にお願いしました。さらに従来は事前訪問を終えてから実習初日までの 2 週間ほどは、愛知県に戻って大学で授業を受ける必要がありましたが、今年度は地元滞りしたまま遠隔で受けてもらっています。もし実習先から要請があれば、体温や体調を 2 週間記録した「健康・行動観察リスト」も作成し、提出してもらいました。愛知県は感染者数が比較的多いことから、感染者数が少ない地域から警戒されてしまい、これくらい厳しくしないと受け入れてもらえなかったのが現実です。学生は相当緊張し、気を配って実習を行ったと思います。

学習面では概ね良好だが、 1 年生は友達づくりで苦労。

遠隔授業に目を向けてみると、後期は教員、学生ともに大分慣れてきてスムーズに対応できている印象です。特に 3、4 年生については、卒業研究のゼミナールとオンラインの親和性が高いですし、先ほど例に挙げたように教育実習や就職活動時も地元にながら授業が受けられるので学生のメリットは大きいと思います。授業内容によっては遠隔の方が、教育効果が上がるものもあると感じています。1 年生については危機意識からか他学年より学習意欲が極めて高く、授業中の質問数も多い傾向があります。大学としてそこを上手く伸ばしていきたいところですが、学習面以外ではデメリットも見られました。友達づくりの難しさ



全学教育センター長、教育・心理学部教授
中村 信次

です。キャンパスに足を運ぶ機会が減り、コロナ禍でアルバイトもしづらいとなれば、新しい友達をつくる機会はどうしても減ります。県外出身の下宿生であれば、なおさらです。その解決策の一つとして、後期の対面授業は 1 年生の科目を優先的にを行い、週 2～3 日は 1 年生がキャンパスに来て対面授業を受けられるようにしました。2～4 年生に関しては学部によって状況はまちまちで、学校の施設や機器を使用しなくてはならない授業は対面で、それ以外は遠隔にするなど柔軟に対応しています。

アンケートから浮かび上がった 遠隔授業のメリット・デメリット。

遠隔授業の効果を可視化するため、前期を終えたタイミングで教員と学生に「遠隔授業に関するアンケート」を実施しました。後期の半ばによりやく分析結果が出たところなのですが、さまざまなメリット・デメリットが浮かび上がってきました。学生が感じたメリットの一つが、「出校しなくても授業が受けられる（できる）」です。例年、遠方から通学する学生だと 1 限に間に合わず出席数不足で単位を落とすケースが見られますが、今年度は再履修の学生が例年の半数に減りました。また、意外なメリットとして挙げたのが、「質問がしやすい」という点。私が受け持つ 250 名ほどの大講義では対面の場合、「質問がある人は挙手してください」と聞いても反応はありません。ところが同じ大講義でも遠隔授業の中でチャットを使って質問を受け付けると、たくさんの学生からメッセージが届きます。それぞれの質問に対して解説をして、関連するコンテンツを紹介したり、授業で触れなかった部分を補足したりするセッションだけで 1 時間ほどを要することがあるほどです。質問へのハードルが下がり、コミュニケーションが

高まったのは想定外でした。

一方のデメリットで気になったのは、「対面授業に比べて課題が多い」という声。教員側からすると、遠隔によって学生の理解度が分かりづらくなったためミニテストやレポートを取り入れて把握しているのですが、学生は負担が増えたと感じているようです。進捗状況や理解度を確認するためには致し方ないのですが、学生の疲労も分かるので、後期は教員間で調整したり、期末試験のボリュームを例年より減らしたりして対処しました。このようにネガティブは緩和し、ポジティブは伸ばせるよう、現在はアンケート分析に加えて授業を担当する先生方が集まる機会を定期的に設け、遠隔授業のノウハウを共有しています。

遠隔授業の質の向上と、 学生のサポート体制を強化。

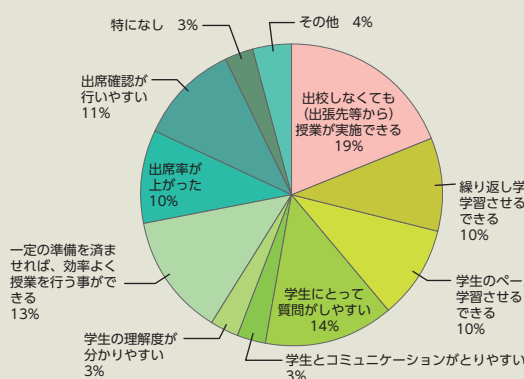
今のところ、来期は対面を基本とした授業形態を想定しています。対面と遠隔の割合は流動的になると思いますが、遠隔授業の継続は確定的です。とはいえ、感染状況が悪化して対面が困難になった場合でも教育活動が継続できるよう、遠隔のみで成り立つ準備も並行して進めています。来期では、遠隔授業の質が問われることは必至です。本来ならば、遠隔授業は大学のカリキュラム内で特別な制約を受けますが、2020 年度は緊急事態ということで国も大

目に見ていた部分があります。しかし 2021 年度は詳細に質を問ってくるはずで。つまり、大学間の勝負になるとも言えます。本学は以前より AP（大学教育再生加速プログラム）で先進的な教育に取り組んできた実績があります。この経験を活かし、学生のラーニングアウトカム（学習成果）の観点からどの授業を遠隔で実施するのか、その中でどのような取り組みをするのか、結果としてどのような力が身につくのか、それをどのように可視化するのか。学びの質保証でよく言われる「PDCA のサイクル」を使って、遠隔授業の中身について総合的に評価し、設計することが重要だと思います。

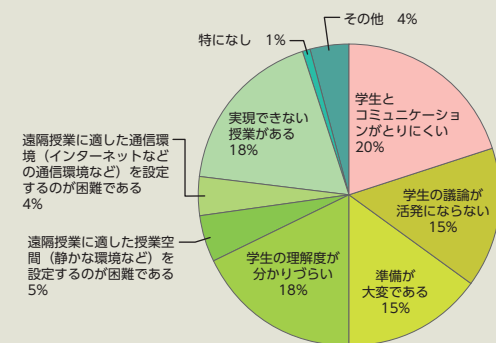
教育の質向上に取り組むだけでなく、同時に学生へのサポートも充実させる必要があります。2020 年 11 月から学修支援アドバイザーを導入し、学習全般の個別サポートを開始しましたが、今後は学修支援アドバイザーの数を増やしてフォロー体制を強化する予定です。また、例年に比べてメンタルヘルスの問題を抱えている学生も増えています。これについては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生への支援対策として早期にホットラインを開設し、経済面からメンタルヘルスまで幅広い不安に寄り添っています。来期に向け、遠隔授業の質の向上とこうした学生支援をセットで強化し、時代のニーズにマッチした本学らしい教育を実現していきたいと思っています。

教員へのアンケート結果

遠隔授業のメリット・良かったことについて、該当する内容を全て選択してください。
(複数選択可・総回答件数 324 件)

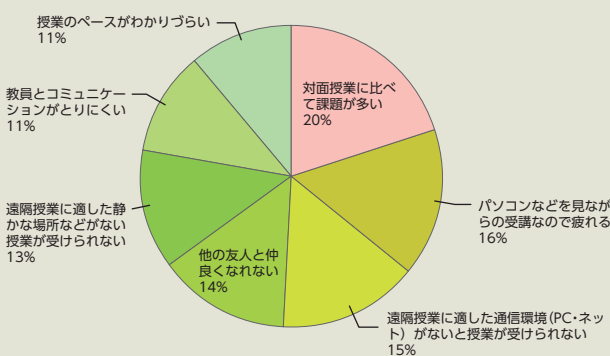


遠隔授業のデメリット・実施して困ったことについて、該当する内容を全て選択してください。
(複数選択可・総回答件数 390 件)

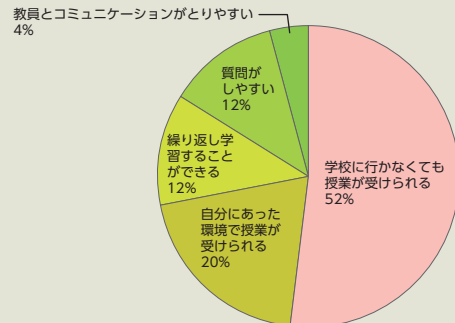


学生へのアンケート結果

遠隔授業のデメリット・困ったことがあれば、お答えください。
(複数回答可・総回答件数 4,845 件)



遠隔授業のメリット・良かったことがあれば、お答えください。
(複数回答可・総回答件数 5,155 件)



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援募金へのお礼とご報告

この度の「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生・生徒への総合支援策」には後援会、同窓生・同窓会をはじめとする各団体・企業の皆様など各方面からご支援を頂き、誠にありがとうございました。皆さまのご厚志に対し心よりお礼申し上げます。以下の通り、ご支援賜りました結果および総額 5 億円規模の総合支援策の実施状況の一部について報告いたします。

申込状況 ※関係自治体からの協力を含む
※ 2021 年 3 月 15 日時点

申込金額 **106,508,407 円** 申込件数 **265 件**

総合支援策実施状況 (一部抜粋)

1 オンライン授業実施による受講環境整備の支援

- 2020 年 5 月 11 日からの授業開始に向けて、緊急貸与奨学金 (13 人 / 105 万円)
- 通学課程の学生・大学院生への一律給付 (5,653 人 / 1 億 6,959 万円)

2 経済的に困窮している学生への経済的支援

- 通学課程
- 経済援助給付奨学金 (210 人 / 5,250 万円)
 - 学費減免 (123 人 / 1,549 万円)
 - 学費延納の一部条件緩和等 (168 人 / 84 万円)

通信課程

- 特別給付奨学金 (30 人 / 300 万円)
- 休学申請にかかる特別措置 (18 人 / 209 万円)

- 日本福祉大学附属高等学校
- 家計急変家族への給付型奨学金の財源充実 (700 万円)
 - 学修に係る経費負担への支援 (691 人 / 691 万円)

詳細は大学 HP を
ご覧ください▶

検索 **新型コロナウイルス
感染症拡大に伴う緊急支援募金**

後援会・同窓会からの支援



左から児玉善郎学長、安川彰会長、丸山悟理事長

2020 年 9 月 19 日に大学後援会幹事会が開催され、総額 1000 万円が後援会から大学へ寄付される運びとなりました。幹事会閉会后、東海キャンパスで安川彰会長から児玉善郎学長へ目録が贈呈されました。



左から児玉善郎学長、数納幸子会長、丸山悟理事長

同窓会より、経済的な理由で学業を断念することがないよう、また、要支援学生の学びの継続を支えていくことに充てていただきたいと 1000 万円の寄付がありました。2020 年 10 月 26 日、名古屋キャンパスで数納幸子同窓会会長、丸山悟理事長、児玉善郎学長が出席し、目録贈呈式を執り行いました。

美浜町大学生等応援飲食券発行事業に伴う飲食券の配布



配布された飲食券



美浜キャンパスでの配布の様子

美浜町大学生等応援飲食券発行事業の実施に伴い、2020 年 10 月 1 日、13 日、18 日の 3 日間に美浜キャンパスにおいて飲食券の配布が行われました。

配布された飲食券は美浜町内の指定された店舗で使うことが可能で、美浜キャンパスに開設した引き換え所には 3 日間で合計 595 名の学生が訪れました。

※本飲食券はその後美浜町役場においても配布され、最終的に計 786 名の学生が受け取りました。

学内で「フードドライブ」を実施



フードドライブの様子 (美浜キャンパス)

2020 年 12 月 22 日～25 日、美浜キャンパスにおいて「フードドライブ」を開催、約 100 名の学生が、お米・缶詰・乾麺・野菜ジュース等の食料品を受け取りました。

「お米が一番嬉しい。助かる。」との声が多く聞かれましたが、季節に合った食品（クリスマス菓子、蕎麦、お餅、甘酒等）や自分の好きなお菓子を手に、嬉しそうな表情の学生の姿も見かけられました。下宿生をはじめ、留学生、障害のある学生等、様々な学生が利用しました。

今回の取組みは、新型コロナウイルス感染症流行の影響が続く厳しい状況の中、学生のみなさんに少しでも温かいクリスマスや年末年始を過ごしていただきたいとの思いから、12 月上旬に本学 HP や掲示板等において教職員に食料品提供を呼びかけたところ、沢山の食料品が寄せられ、学生に配布することができました。

2021 年 3 月 9 日、10 日にも同様の取組みを実施しました。また 2021 年 3 月 17 日には、知多地域同窓会から提供いただいた食料品を学内で配布しました。今後も引き続き、取り組んでいきます。(今回の取組みは東海キャンパスおよび半田キャンパスにおいても実施しており、多くの学生が利用しました。また適宜各キャンパス事務室前においてもフードドライブを実施しております。)

フードドライブ利用学生の声 (アンケート抜粋)

- 米 3 合分はかなり家計的に助かりました。味も大変美味しかったです。
- コロナでなかなかバイトができていなかったのも、金銭的に助かった。
- 年末年始は新型コロナウイルスの影響で実家に帰れなくなってしまったのですが、こうしてたくさんの方が助けてくださる温かさや人との繋がりを感じることができました。
- 蕎麦や甘酒をいただけたのがとても嬉しかったです。一人暮らしをしていると季節行事に合わせた食事をする機会がありませんので、年末年始が楽しみになりました。
- 紅茶が嬉しかったです。これを飲んで国家試験の勉強頑張ります。
- オンライン(講義)で大学に行けず、友達にも会えないので、このような機会に優しさに触れられて温かい気持ちになりました。

※フードドライブとは
各家庭で余った食品を持ち寄り、それを必要とする人々にフードバンクなどを通じて福祉団体や必要としている方々に寄付する活動のことです。

TEAM福祉力

通信教育部 20年のあゆみ

2001年4月に開設した通信教育部は、この春20周年を迎えます。

当時の通信教育のイメージは「郵便を使って、一人で黙々と」。インターネットを活用した添削・試験システムや、全国各地でのスクーリング、単位制学費など、社会人の学びやすさに配慮した新しいスタイルの通信制大学として注目されました。

これまでの入学者は39,648名、卒業生は24,184名。今後も10代から高齢者まで多世代の学びのニーズに応え、リカレント教育の一翼を担っていきます。

2001年度～2004年度	2005年度～2007年度	2008年度～2011年度	2012年度～2015年度
日本福祉大学通信教育部を開設 経済学部経営開発学科として発足 通信制大学国内初の「インターネットを活用した添削・試験システム」を導入 初年度春季入学者数 1,050名 2003年度 福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科に改組 2004年度 第1期生の卒業 682名 (卒業率53.2% 全国平均17.0%) 第17回社会福祉士国家試験 186名合格 (合格率53.4%)	2005年度 オンデマンド授業スタート 「ユニバーサル・アクセス時代の通信教育～生涯学習型ネットワークキャンパスこの構築を目指して」が通信では初の文部科学省の特色GP*に採択 2006年度 精神保健福祉士国家試験受験資格が取得可能に 第19回社会福祉士国家試験に 273名合格 (全国通信制大学合格者数第1位) 2007年度 第10回精神保健福祉士国家試験に 52名合格 (合格率78.8% 初の実績で通信制大学全国1位) *GPとは？(2003年～2013年) 文部科学省では大学等が実施する教育改革の取組みの中から、優れた取組みをコンペディション形式で選定しています。この「優れた取組」は「Good Practice」と呼ばれ、この言葉を略して「GP」と呼んでいます。これは諸外国の大学教育改革でも注目されている言葉です。	2008年度 スウェーデン研修開講 アフィリエイトッド・ファイナンシャル・プランナー(AFP) 資格審査試験受験資格が取得可能に 2009年度 正科生入学者数 2,500名超え 第21回社会福祉士国家試験に 451名合格 初の全国大学合格者数1位 (通学・通信全209校中) 社会福祉士新カリキュラムスタート 2010年度 在籍学生数7,000名超え 卒業生数7,882名 全国 24 か所でスクーリングを実施 (過去最大会場数)	2013年度 学園創立60周年 2014年度 幼保特例プログラムスタート 初年度志願者数1,000名 2015年度 履修証明プログラムスタート 「福祉職場の課題解決力の向上」 「スーパービジョンの理論と実践の基礎」 公開講座開講 101名参加

通信教育部 歴代新聞広告

朝日広告賞 G部門 (教育・公共部門) 賞受賞



2020年度 課外活動奨励賞

対象期間：2019年11月～2020年10月

日本福祉大学では、大学後援会から学生活動支援助成を受けて、スポーツや学術文化、地域貢献活動など、課外活動においてすぐれた成果をあげた学生やサークル・団体を表彰しています。今年度の授与式が2020年12月12日美浜キャンパス120教室で開催されました。

例年は、後援会役員の皆様にもご出席いただき、学生やサークル顧問など関係者約400名が参加する式典ですが、今年度は受賞者と関係者のみ（40名程度）に参加者を限定し、また、webにて映像中継を行っての開催となりました。



学長表彰（個人）

■スポーツ活動

■高橋 峻也／（陸上競技部）経済学部4年

①ドバイ2019世界パラ陸上競技選手権大会 F46男子やり投・総合6位／②第74回鳥取県陸上競技選手権大会 男子やり投・総合3位／③第31回日本パラ陸上競技選手権大会 F46やり投・総合2位

■安田 帆孝／（水泳部）スポーツ科学部3年

第36回日本パラ水泳選手権大会 50m自由形・2位、100m自由形・1位、200m自由形・1位、400m自由形・2位

■田中美沙樹／（水泳部）経済学部4年

①2020日本学生トライアスロン選手権 渡良瀬大会 総合3位／②2020東海ブロックトライアスロン選手権 総合4位／③第10回日本U23トライアスロン選手権（2020/長良川） 総合6位／④第26回日本トライアスロン選手権（2020/東京・台場） 総合20位

■渡辺 輝／（水泳部）スポーツ科学部4年

2020日本学生トライアスロン選手権 渡良瀬大会 総合138位

■佐々木蓮真／（アーチェリー部）スポーツ科学部1年

①愛知県アーチェリー協会第3回国体選考会 午前の部成年男子 4位／②愛知県アーチェリー協会第3回国体選考会 午後の部成年男子 3位／③愛知県アーチェリー協会愛知県記録会リカーブ70m部門男子 2位／④愛知県アーチェリー協会第3回ターゲット記録会 RC70m男子 2位／⑤愛知県アーチェリー協会第9回ターゲット県記録会 リカーブ70m部門男子 3位／⑥愛知県アーチェリー協会第10回ターゲット県記録会リカーブ70m部門男子 3位

【全国大会】

⑦第59回全日本学生アーチェリー個人選手権大会（インカレ）男子個人予選 62位 決勝トーナメント ベスト32

■西野 凌／（アーチェリー部）スポーツ科学部2年

①2020年度東海学生アーチェリーインドア選手権 男子 6位／②愛知県アーチェリー協会第3回国体選考会 午前の部成年男子 5位／③愛知県アーチェリー協会愛知県記録会 リ

カーブ70m部門男子 3位／④愛知県アーチェリー協会第3回ターゲット記録会 RC70m男子 4位／⑤愛知県アーチェリー協会第4回ターゲット記録会 RC70m男子 3位／⑥愛知県アーチェリー協会第5回ターゲット記録会 RC70m男子 2位／⑦愛知県アーチェリー協会第9回ターゲット県記録会リカーブ70m部門男子 9位／⑧愛知県アーチェリー協会第10回ターゲット県記録会 リカーブ70m部門男子 6位

【全国大会】

⑨第59回全日本学生アーチェリー個人選手権大会（インカレ）男子個人予選 55位 決勝トーナメント ベスト64

学長表彰（団体）

■スポーツ活動

■アーチェリー部

①2020年度東海学生アーチェリーインドア選手権 女子 6位：山本奈生子 7位：佐藤百音／②愛知県アーチェリー協会第3回ターゲット記録会 RC70m男子 6位：川瀬翔也 7位：飯田康太／③岐阜県ターゲット選手権大会（1）RC一般女子 4位：佐藤百音／④岐阜県ターゲット選手権大会（2）RC一般女子 5位：佐藤百音／⑤第14回しずおかスポーツフェスティバルアーチェリー大会 成人女子 1位：三井尚美

【全国大会】

⑥第59回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦 団体 8位（メンバー：飯田康太・西野凌・川瀬翔也・佐々木蓮真）／⑦第55回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦 団体 9位（メンバー：佐藤百音・山本奈生子・三井尚美・能島雅）／⑧第59回全日本学生アーチェリー個人選手権大会（インカレ）女子個人予選 45位：三井尚美 59位：佐藤百音

学生部長表彰（個人）

■スポーツ活動

■井内 月野／（陸上競技部）スポーツ科学部4年

児玉善郎現学長を次期学長に再任



2020年度末の任期満了に伴い、2020年度10月26日開催の理事会において児玉善郎現学長が再任されました。任期は2021年4月1日から2023年3月31日までの2年間です。

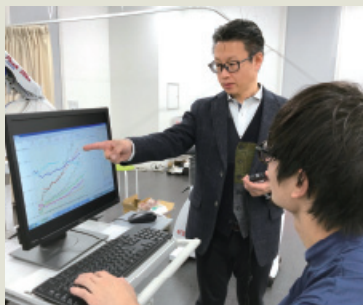
児玉善郎学長は1959年生まれ、61才。博士（工学）。専門は居住福祉、福祉住環境、建築・都市計画。

1985年神戸大学大学院工学研究科環境計画学専攻修了。民間の都市計画事務所・株式会社計画技術研究所研究員、神戸大学工学部技官、産業技術短期大学助教授を経て、2000年日本福祉大学社会福祉学部へ赴任。本学着任後、大学院社会福祉学研究科長、社会福祉学部長補佐、社会福祉学部長、執行役員（高大接続）などを歴任し、2017年4月より学長に就任。

主な社会的な活動として、愛知県東海市空家等対策協議会会長、愛知県高浜市入札監視委員会委員長、兵庫県三田市建築審査会会長などの要職に就いている。日本社会福祉学会、日本建築学会、日本都市計画学会などに所属。

主な著書に、『住まいの論理』嵯峨野書院（共編著）、『現代都市再開発の検証』日本経済評論社（共著）、『居住福祉学』有斐閣（共著）、『災害福祉論』青踏社（共著）など。

大学院スポーツ科学研究科の開設



スポーツを通じた共生社会の実現に向け、学校や地域などの場で障害児・者を含む個々の多様なニーズに応えリーダーシップのとれる人材に対する社会的ニーズが益々高まっています。そうした情勢を踏まえ、スポーツに関わる専門的で高度な知識と技能、共生社会を実現させる力とスポーツのインテグリティを守る知識と技能、これらの研究能力を持ち、スポーツ科学の発展に寄与できる高度専門職業人を養成するため、2021年4月スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻（修士課程）を美浜キャンパスに開設します。



教育課程

基礎科目は「スポーツ科学研究方法特論」と《スポーツふくし・文化科目群》によって編成し、関連する科目を、専門科目と展開科目に配置しています。

修士論文は「スポーツ科学研究方法特論」で研究方法論を学習した後、「スポーツ科学研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」によって完成させる構造となっています。

スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻 修士課程

入学定員／10名

学位名／修士（スポーツ科学）

設置場所／美浜キャンパス

取得可能資格※／中学校教諭専修免許状（保健体育）

高等学校教諭専修免許状（保健体育）

※取得にあたっては、専修免許状の基礎となる1種免許状（保健体育）を取得していること。あるいは、1種免許状（保健体育）を取得見込みであること。

想定される進路

- 中学校・高校保健体育科教員※
- 特別支援学校教員※
- 官公庁のスポーツ・健康関連部局職員
- 健康政策の国際専門機関職員
- 一般企業

〈専門科目・展開科目〉
スポーツ人文・社会科学科目群

〈基礎科目〉

研究方法論科目
スポーツふくし・文化科目群

スポーツ科学研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

想定される進路

- 中学校・高校保健体育科教員※
- スポーツ・健康関連企業上級スタッフ
- スポーツ映像プロデューサー
- スポーツイベントクリエイター
- 各種企業の健康運動指導の専門家や健康管理部門の責任者

※大学院入学前に該当する校種・科目の免許状を取得していることが必要です。

- ①第 80 回愛知県陸上競技選手権大会 400 m・総合 6 位／②第 47 回東海学生陸上競技秋季選手権大会 400 m・総合 4 位、800 m・総合 1 位
- 加藤 皓大／（陸上競技部）スポーツ科学部 3 年第 47 回東海学生陸上競技秋季選手権大会 400 m・総合 3 位
- 横山 竜也／（陸上競技部）スポーツ科学部 3 年①第 81 回石川県陸上競技選手権大会 800 m・総合 4 位／②第 47 回学生陸上競技秋季選手権大会 1500 m・総合 7 位
- 坂田 翔悟／（陸上競技部）社会福祉学部 3 年〔第 17 回日本デフ陸上競技選手権大会：100 m・総合 3 位
- 石垣 喜人／（陸上競技部）スポーツ科学部 2 年第 31 回日本パラ選手権大会 100 m（T37）・総合 2 位、200 m（T37）・総合 3 位
- 末元 昂成（陸上競技部）スポーツ科学部 2 年長野サマー・トライアル 2020 第 63 回東海陸上競技選手権大会予選 ハンマー投げ・総合 5 位
- 中西 椋／（陸上競技部）スポーツ科学部 2 年第 17 回日本デフ陸上競技選手権大会 100 m・総合 6 位、三段跳・総合 1 位、走幅跳・総合 1 位
- 丸山 雄太／（陸上競技部）スポーツ科学部 2 年① 2020 東海混成競技大会愛知県大会 総合 5 位／②第 41 回愛知県混成競技大会 総合 1 位
- 鮎川 翔／（陸上競技部）スポーツ科学部 1 年第 47 回東海学生陸上競技秋季選手権大会 1500 m・総合 8 位
- 保 あかり／（陸上競技部）スポーツ科学部 1 年第 47 回東海学生陸上競技秋季選手権大会 走高跳・総合 8 位
- 中村 美月／（陸上競技部）スポーツ科学部 1 年第 17 回日本デフ陸上競技選手権大会 800 m・総合 3 位、1500 m・総合 2 位
- 齋藤 樹／（I 部バドミントン部）教育・心理学部 1 年第 65 回愛知学生新人バドミントン選手権大会 男子ダブルス準優勝
- 濱野 翠斗／（I 部バドミントン部）スポーツ科学部 1 年第 65 回愛知学生新人バドミントン選手権大会 男子ダブルス準優勝
- 武本 結衣／（I 部バドミントン部）スポーツ科学部 1 年第 65 回愛知学生新人バドミントン選手権大会 女子ダブルス優勝
- 渡瀬 美月／（I 部バドミントン部）スポーツ科学部 1 年第 65 回愛知学生新人バドミントン選手権大会 女子ダブルス優勝
- 中川 杏／（I 部硬式テニス部）スポーツ科学部 3 年第 70 回東海学生春季テニストーナメント大会 女子シングルス 3 位
- 堀田 雪乃／（フライングディスク部）スポーツ科学部 3 年第 1 回全日本ガッツクラブチーム選手権大会 団体結果：優勝（学外クラブチーム） 個人結果：ベストフォロワー賞
- 飯島 桜／（女子バスケットボール部）スポーツ科学部 3 年 2020 年度東海学生バスケットボール秋季大会 2 部リーグ 得点王

■地域貢献活動

- 東川 泰成／健康科学部 4 年

【亀崎建築塾】

YouTube にて建築（ものづくり）を通した地域の魅力の発信（10/25 時点で動画は 24 本）を行った。https://youtu.be/CQlrviGbly8
上記の配信が、亀崎中学校での講演、望洲楼にて海と蔵の会での講演、有脇かいどり大作戦への参加、美浜キャンパスにおける総合演習への参加といった活動に繋がった。また、メディア掲載として「立川傳人 41 号」、「半田市報」、「中日新聞（知多版）」へ掲載された。
また、YouTube を見て、亀崎に新しくオープンする店舗の内装設計の依頼を任された。

学生部長表彰（団体）

■スポーツ活動

■男子ソフトボール部

① 20 回愛知県大学（男子）ソフトボール選手権大会 準優勝／②中京テレビ杯東海地区大学（男子）秋季ソフトボールトーナメント戦 第 3 位／③全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会（代替大会）東海地区代表決定戦大会 準優勝／④中京テレビ杯 2020 年秋季第 87 回東海地区大学（男子）ソフトボールトーナメント戦 第 3 位

■硬式野球部

① 2020 年度愛知大学野球連盟秋季リーグ戦 2 部 B リーグ 1 位／②山崎頼樹 2 部敢闘賞／③藤原直也 2 部 B リーグ 優秀投手賞

■女子バスケットボール部

2020 年度東海学生バスケットボール秋季大会 2 部リーグ 優勝

■男子バスケットボール部

① 2019 年度第 90 回東海学生バスケットボールリーグ戦 3 部リーグ B ブロック 優勝／② 2019 年度第 90 回東海学生バスケットボールリーグ戦 決勝リーグ第 2 位 入替え戦出場／③ 2019 年度第 90 回東海学生バスケットボールリーグ戦 入替え戦 勝利 2 部リーグ昇格／④ 2020 年度東海学生秋季バスケットボール大会 2 部リーグ 第 3 位／⑤小石璃音 2019 年度第 90 回東海学生バスケットボールリーグ戦 個人賞として「敢闘賞」受賞、同リーグランキング（3 部男子） 3 ポイントランキング：5 位 得点ランキング：5 位、2020 年度東海学生秋季バスケットボール大会・ランキング（2 部男子）、3 ポイントランキング：4 位 得点ランキング：9 位／⑥森本拓歩 2020 年度東海学生秋季バスケットボール大会・ランキング（2 部男子） 得点ランキング：2 位／⑦高橋亮成 2019 年度第 90 回東海学生バスケットボールリーグ戦・ランキング（3 部男子） 得点ランキング：4 位、2020 年度東海学生秋季バスケットボール大会・ランキング（2 部男子）、3 ポイントランキング：7 位 得点ランキング：4 位／⑧安江誠 2020 年度東海学生秋季バスケットボール大会 2 部リーグ 個人賞として「優秀選手賞」受賞、同リーグランキング（2 部男子） 3 ポイントランキング：7 位

陸上競技部
高橋 峻也 さん



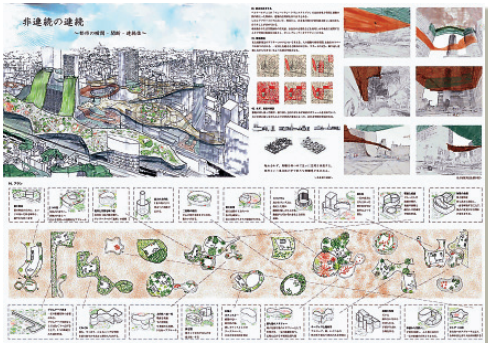
高橋峻也さん（経済学部 4 年）は大学よりバラ陸上競技（やり投げ）を始め、国内外の大会で優秀な成績を収めました。
3 年時（2019 年度）には日本パラ陸上競技連盟の強化育成指定選手に選ばれたほか、大学スポーツ協会（UNIVAS）が優れた競技成績を残したパラスポーツ選手（大学生）を表彰する「パラアスリート・オブ・ザ・イヤー」において優秀賞を受賞。続く 2020 年度には日本パラ陸上競技連盟の強化指定選手となり、コロナ禍においても自宅を中心にトレーニングに励み、2020 年 9 月 5 日に熊谷陸上競技場で開催された第 31 回日本パラ陸上競技選手権大会では自己ベストを更新（58m98、結果は 2 位）しました。
これらの実績を踏まえ、2020 年度学位記授与式では学長表彰を受けました。
卒業後はトヨタ自動車株式会社に就職し、東京 2020 パラリンピックへの出場を目指します。
高橋さんの今後の活躍が期待されます。



健康科学部福祉工学科建築バリアフリー専修 2 年竹内勇真さんの設計作品が『アフターコロナの世界』建築コンペで入賞



竹内 勇真 さん



竹内さんの作品
「非連続の連続 ～都市の瞬間・間断・連続性～」

運動や使用空間、衣食住のスペースが一定規模を超えとリスタートするという提案を行いました。

なお竹内さんは、「アフターコロナの世界」建築コンペと同時期に開催された「建築新人戦 2020」でも 8 選に残る好成績を収めました。

■竹内さんのコメント

この度、「アフターコロナの世界」コンペティションにおいて浅子佳英賞をいただきました。このコンペティションはコロナ禍で不自由な生活を強いられるなか、未来を考える時間や歴史的な変革に向きあう機会として開催されました。今回、危機と共存するアフターコロナの世界において、身体動作や生活空間、衣食住の必要性などを再考し、都市や建築のあり方を提案できたのではないかと思います。

教員の活躍

福祉経営学部 尾林和子教授が欧州老年医学会（EuGMS）で「ベストデジタルポスター賞」を受賞

第 16 回欧州老年医学会学会学術会議が、『「高齢者の健康管理のために」新型コロナウイルス感染症の教訓と課題』をテーマに 2020 年 10 月 7 日～9 日 WEB で開催されました。59 か国の参加と演題数 1000 件の中、福祉経営学部尾林和子教授の演題が、「ベストデジタルポスター賞（Best Digital Poster Awards）」を受賞しました。

■受賞演題

「Developing a bedside robot with monitoring and communicative functions for older people in residential care homes」

■尾林教授のコメント

この度、EuGMS2020(欧州老年医学会) にてベストデジタルポスター賞を頂くことができました。この研究は「高齢者施設での見守り・コミュニケーション機能を備えたベッドサイドロボットの開発」をテーマとし、介護現場で取り組んだ機器開発 PDCA を中心に報告しています。日本の介護現場の知見を活かしたシステム研究開発が、COVID-19 から身を守る「新しい手段」として海外からも評価されたことに深く感動しております。改めて関係者の皆さまに感謝をお伝えするとともに、今後も引き続き、介護現場のナレッジを明文化し、発信し続けていきたいと考えております。



受賞演題のポスター

● 学園ネットワーク ●

● 提携社会福祉法人：社会福祉法人 札幌慈啓会

参 考 | 社会福祉法人 札幌慈啓会 HP

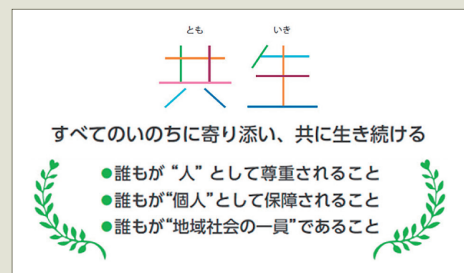
https://www.sapporojikeikai.or.jp



法人の成り立ち

大正 14 年 10 月、人々の健やかな老後を願い仏教精神のもとに、法人の母体である浄土宗新善光寺住職の林玄松上人が、現在地である札幌市内を一望する藻岩山の麓に札幌養老院を開設しました。

昭和 27 年に社会福祉法人の認可を受け、同 44 年には社会福祉法人札幌慈啓会に改称し、札幌市における高齢者福祉の先駆的な役割を果たすとともに、時代や地域の要請に応え多様で複合的な法人運営を展開してまいりました。



法人理念

「共生」の意味するものは、人・個人・地域社会といった横のつながりだけではなく、過去から現在、そして未来へつながる“いのち”という縦のつながりも大切にすることです。

わたしたちは「共生」の精神のもと社会的使命を果たし、今まで積み重ねた歩みを絶やすことなく新たな時代へと歩みを進めて参ります。

札幌慈啓会の地域における公益的な取組の一部をご紹介します

総合相談室	保健・医療・福祉について、専門スタッフがフリーダイヤルにて相談を受け付けます。
生活困窮者 就労訓練事業	生活困窮者自立支援法に基づき、本人の状況に応じて一般就労に向けた就労体験等の訓練、指導、支援などを行っています。
カフェ運営	認知症カフェやコミュニティカフェなど、単に地域住民の集いの場を提供するだけではなく、専門性を生かした相談対応や情報提供、関係機関とのつながりの拠点としての役割を担っています。
地域住民の 自主活動支援	地域福祉の向上を目的に、運動グループの立ち上げなど住民相互の交流や地域作りにつながる自主的な活動への支援を行っています。
共生助成事業	高齢者の保健・医療・福祉に関する調査・研究に対し助成を行っています。



法人概要

法 人 名：社会福祉法人 札幌慈啓会

開 設：大正 14 年（1925 年）10 月

所 在 地：〒064-0941 北海道札幌市中央区旭ヶ丘 5 丁目 6-51

理 事 長：太田 眞琴 職員数：約 650 名

事業内容：札幌市内 7 施設、1 病院、1 保育園、2 地域包括支援センター
 〈第 1 種〉養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム
 〈第 2 種〉無料又は低額診療事業・介護老人保健施設利用事業、デイサービス事業、短期入所事業、居宅介護等事業、保育所事業、一時預かり事業



第 14 回提携社会福祉法人サミットを開催

本学は「社会福祉法人の実践と本学の研究・教育を基本とした交流を図ることにより、地域社会と社会福祉法人の発展に寄与すること」を目的に、2006 年 4 月より全国各地の社会福祉法人との提携を開始し、現在 14 法人と提携しています。

2008 年 2 月に「社会福祉法人の役割と経営・運営」を全体テーマに、第 1 回「提携社会福祉法人サミット」を実施。以来、毎年 2 月に、1 泊 2 日のプログラムで、各法人の理事長や理事、経営幹部の方々と本学の理事長、学長、教職員が一堂に会し、厚生労働省をはじめとする社会福祉関係者も講師にお招きして、「サミット」を開催してきました。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により、直前にやむな

く開催を断念。今年は「With コロナに向けた社会福祉法人のこれからと大学との連携について」をテーマに掲げ、オンラインかつ 2 日に分散してのプログラムに変更し、開催しました。（2 日間の延べ出席者数 137 名）。

コロナ禍での各法人の感染拡大防止の取り組みや、事業実施にあたっての様々な課題等を具体例とともに全体で共有し、With コロナ時代をどう乗り切っていくのか、また、地域生活課題の多様化・複雑化をふまえ、社会福祉連携推進法人制度等新たな制度創設が検討されている中で、社会福祉法人に期待される役割をどう果たしていくのか、活発な議論が行われました。

テーマ「With コロナにむけた社会福祉法人のこれからと大学との連携について」

プログラム

① 2021 年 2 月 20 日（土）

時 間	内 容	講師・報告者等
13:00～13:10	開式 開会挨拶	〈司会〉 木戸 利秋（社会福祉実習教育研究センター長、社会福祉学部教授）
13:10～14:10	記念講演 「社会福祉の変化と社会福祉法人の使命」	〈挨拶〉 児玉 善郎（学長）
14:10～14:40	基調報告 「With コロナ、ポストコロナに向けた社会福祉法人への期待―社会福祉連携推進法人制度創設に向けて―」	〈講師〉 古部 賢一氏（全国社会福祉協議会副会長）
14:40～15:50	特別報告①② 「コロナ禍における社会福祉法人の取り組み」（2 法人からの報告） 特別報告③ 「コロナ禍における大学の取り組み」	〈報告者〉 宇野 禎晃氏（厚生労働省社会・援護局福祉政策課長）
16:00～16:40	意見交換（参加者は各法人代表者 1 名）	〈報告者〉 ① 高橋 信夫氏（武蔵野会理事長） ② 平田 直之氏（慈愛会常務理事） ③ 児玉 善郎（学長）
16:40～16:45	閉式	〈コーディネーター〉 原田 正樹（副学長、社会福祉学部教授）

② 2021 年 2 月 25 日（木）

時 間	内 容	講師・報告者等
13:00～13:15	開式	〈司会・挨拶〉 木戸 利秋（社会福祉実習教育研究センター長、社会福祉学部教授）
13:15～14:15	法人からの実践報告（3 法人） 「コロナ禍における社会福祉法人の実践と課題」	〈報告者〉 ① 加藤 敏彦氏（札幌慈啓会専務理事） ② 新垣 恵子氏（横浜市福祉サービス協会新鶴見ホーム新館〈特養〉管理者） ③ 藤原 純司氏（昭徳会人事課長）
14:30～15:30	法人からの実践報告を受けて グループディスカッション	〈コーディネーター〉 ① 木戸 利秋（社会福祉実習教育研究センター長、社会福祉学部教授） ② 小松理佐子（社会福祉学部教授） ③ 綿 祐二（福祉経営学部長、教授） ④ 保正 友子（社会福祉実習教育研究センター副センター長、社会福祉学部教授） ⑤ 明星 智美（社会福祉実習教育研究センター副センター長、福祉経営学部准教授） ⑥ 浅原 千里（社会福祉実習教育研究センター運営委員、社会福祉学部准教授）
15:30～16:00	意見交換	

● Uターン就職支援協定・締結自治体：石川県

参 考 | 石川県 HP

石川県 <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/> ◇ ジョブ NAVI 石川 <https://jobnavi-i.jp/>

日本福祉大学とは、2018 年（平成 30）年、石川県出身学生の U ターン就職の一層の促進を図る目的で、県内就職支援に関する協定を締結し、同県の県内企業情報や就職情報の提供、学生の U ターン就職の支援を行っています。協定締結直後から日本福祉大学と石川県は協力し、U ターン就職を希望する学生を対象に、同県の県内福祉施設や企業を知る機会を、継続的に創出しています。

石川県は本州のほぼ中央部に位置しています。本県の魅力は、自然と文化の調和であり、南は白山国立公園を源に発する手取川による肥よくな加賀平野、北は日本海に突き出た能登半島、そして県都金沢は日本でも有数の城下町で、歴史の面影を残す一方、近代的な街づくりも進んでいます。数々の伝統工芸を育んだ歴史を持つ石川県は、現在も国内屈指のものづくり王国であり、県の基幹産業である機械・繊維・食品に加え、近年は IT・情報サービス業も著しく成長中です。全国でトップシェアを誇る企業や、グローバルに活躍する企業など、優れた特徴を持つ企業がたくさんあり、多くの優秀な人材を求めています。

この先、石川県を含め日本全体で人口減少が進んでいくことが予想されている中、本県では北陸新幹線



県 旗 「石川」の文字と石川の地形をデザイン化したものです。地色の青は、日本海の豊かな緑・清い水・澄んだ空気という石川の恵まれた自然環境を表しています。

人 口 1,130,801 人
（2020 年 9 月 1 日時点）

面 積 4186.05km²

開業効果の持続・発展を図り、ものづくり産業や高等教育機関の集積、質の高い文化や豊かな自然、充実した子育て環境など石川の個性とも言える財産にさらに磨きをかけることにより、石川への人やものの流れを増大させるとともに、人口減少・高齢化の進展を見据え、あらゆる世代が安心して暮らすことのできる社会をつくることにより、石川のさらなる飛躍と発展を目指します。



日本福祉大学付属高等学校 2020 年度

部活動報告

硬式野球部

第130回全尾張高等学校野球選手権大会で優勝しました。同大会での優勝は初の快挙です。



陸上競技部

新人体育大会知多支部予選会では女子4×100mリレーで優勝しました。また男子では宮崎一馬さんが顕著な成績を残したことからスポーツ庁から表彰を受けました。



水泳部

2020年8月に行われた愛知県新人体育大会知多支部予選会で男子総合優勝を果たしました。



サッカー部

2020年度から愛知県リーグ1部に参戦しました。強豪との試合を重ね着実に力をつけています。次年度も引き続き1部リーグで戦います。



吹奏楽部

2021年1月に開催された「2020年度全日本アンサンブルコンテスト知多地区大会」に木管三重奏・木管八重奏・金管八重奏・トロンボーン四重奏の4チームが出場し、全てのチームが金賞を受賞し県大会に出場しました。



和太鼓部

2021年度全国大会（全国高文祭和歌山大会）出場校に選ばれました。連続30回目の出場となります。



2020 年度をふりかえって



日本福祉大学付属高等学校
岩本 憲之 校長

今年度は、4、5月と2か月にわたる臨時休校にはじまりました。とりわけ1年生にとっては入学したばかりで休校となり、友人もできない中、大変不安だったことと思います。

私たち教員は「学びを止めない」を合言葉に、動画配信やオンライン授業を導入するなどして、生徒の学習に対するモチベーション維持に努めてきました。

学校再開後も学校行事や部活動など、すべてにおいて中止や縮小や延期を余儀なくされ、制約された中で試行錯誤を重ねました。文化祭は一般公開中止、1日に短縮しての開催となりましたが、オンラインも活用して日頃の成果を発表。体育祭は企画・準備・運営をスポーツコースの2年生が中心となって行う新しい形の体育祭を創出することができ、それぞれ達成感のある取り組みができました。

部活動は、ほとんど全ての公式試合が中止となる中、数少ない機会を生かし、強化指定部を中心に前進が見られました。練習期間も少なく、思うようにならない厳しい状況乗り越え、野球部のように全尾張選手権大会に優勝するなど成果を残してくれました。

大学推薦入試が始まるころより、学年を問わず、図書室や自習室に遅くまで残って勉強している姿をよく見るようになりました。センターに代わる「大学入学共通テスト」は3年生全員が受験。国公立や難関私大に挑戦・合格する生徒も増え、強化指定の部活動で頑張った生徒が勉強でも成果をあげる姿が見られました。

今年度は2015年から開始した「日本福祉大学付属高校第2期中期計画」の最終年度でもありました。進学実績の向上や部活動の強化や活性化、生徒募集力の強化を重点に掲げ、さまざまな取り組みをすすめてきました。生徒募集もここ数年上昇しています。生徒たちの中に「部活も勉強も両立させたい」という前向きな空気が醸成されてきており、本校がめざす「文武両道」のモデルも生まれています。一層そのような学校風土が定着するよう、来年度も取り組みを奨励していきたいと思っています。

とはいえ学校建設はまだ道半ばです。諸課題は2021年度から始まる第3期中期計画に引き継ぎながらも、より新しい魅力を加え、知多半島内にある唯一の私学として、教育目標に掲げる「すべての人の幸せのために、未来社会に貢献できる人材の育成」に向かって教職員一同いっそう取り組んでいきます。

第18回高校生福祉文化賞 エッセイコンテスト入選



伊奈穂乃佳さん（写真左）と
岩本憲之校長（写真右）

第18回高校生福祉文化賞エッセイコンテスト※（主催：日本福祉大学、朝日新聞社）において、国内外から寄せられた応募総数8,193件の作品の中から、1年生の伊奈穂乃佳さんが入賞しました。また奨励学校賞も受賞しました。

※高校生福祉文化賞エッセイコンテストとは

次の時代を担う高校生に、身近な体験を通して感じた「ふくし」への思いを800字以内のエッセイで表現してもらい、「ふくし」の役割や大切さを社会に浸透させることを目的としています。

2003年に本学園が設立50周年を迎えたことを記念して始めたコンテストです。

伊奈さんの作品および他の応募者の受賞作品はこちらからご覧になれます。

第18回高校生福祉文化賞エッセイコンテスト
<https://www.n-fukushi.ac.jp/50th/essay/>



新校舎を建設します



完成イメージ

2022年度から使用を目指して、2021年4月より新校舎の工事がはじまります。

新校舎／名称：ゆりのき館
普通教室3室、多目的教室1室

日本福祉大学中央福祉専門学校の学生 5 名が 厚生労働省のプロジェクトに参加しました



選抜された 5 名の学生

厚生労働省「介護のしごと魅力発信等事業」をきっかけとして、介護の魅力を若者目線で発信していくために結成された「介護・福祉かえる委員会」において、学科で選抜された 5 名の学生が「日本人介護者と留学生介護者の交流」をテーマにワークショップを実施しました。

学生たちは、講義「介護過程」で取り組んだテーマをもとに、中央福祉専門学校の在籍する留学生を対象に「留学生が困っていること」に関してアンケートおよびヒアリング調査を実施。その成果が、テレビ番組「にっぽんの要」(BS フジ・2021 年 2 月 28 日放送)の 1 コーナーとして放送されました。

参加校一覧

- 神奈川県立津久井高等学校 福祉科
- 千葉県立松戸向陽高等学校 福祉教養科
- 帯広大谷短期大学 社会福祉科
- 日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科
- 文京学院大学人間学部 人間福祉学科

※介護のしごと魅力発信等事業とは

介護や福祉と普段接点がない若者などにも委員会に参加していただき、それぞれの立場や視点から福祉や介護のこれからについて考えていくものです。

介護福祉士科 11 名の留学生が卒業



今年度、介護福祉士科においては留学生数が過去最多となり、11 名が卒業を迎えました。どの学生も 2 年間懸命に勉強し、うち 2 名の学生が 2021 年 3 月 19 日の卒業式で愛知県知事賞、校長特別賞を受賞しました。卒業後は全員が福祉施設で働きます。

留学生の出身地

韓国 1 名、ベトナム 9 名、インドネシア 1 名

日本福祉大学附属クリニックさくら



2020 年 9 月に開院し、半年が経過しました。耳鼻咽喉科では、花粉症をはじめとするアレルギー性鼻炎、中耳炎、咽頭炎などの一般的な診療に加え、めまい、睡眠時無呼吸症候群などの診療や、補聴器外来を実施しています。リハビリテーション科では、ことばの遅れや、聴こえの問題、吃音症、嚥下障害がある患者様に対して、ことばと聴こえの訓練を実施しています。この間、診療・訓練に関わるご相談内容の幅も広がってきています。

引き続き、優れた医療の提供と親身な対応を心掛け、地域の皆様の期待に応えて参ります。